

スペイン. 文学の旅

訳例と解答例

6. ソリアの野 (2) p.15

ドゥエロ川が流れる
銀色の丘,
灰色の小山, 紫の岩
ソリアを囲む弓形の川の流れ
暗いカシ林,
けわしい石ころの地, はげ山,
白い道, 川端のポプラ,
神秘的で勇ましいソリアの午後よ,
きょうはおまえたちゆえに私の心の奥に
悲しみを感じる,
愛とも言える悲しみを!
岩も眠るソリアの野よ,
私とともに来い! 銀色の丘,
灰色の小山, 紫の岩! …

* 感嘆符で囲む範囲がずいぶん長いですが? → 詩人の思いはここまでを包んでいるのでしょ。感情の高まりが感じられます。

* L 5. en torno a Soria はどこにかかりますか? → L3 の動詞 traza を修飾する副詞句です。

* L 3. por donde traza el Duero の関係詞句を訳例の 1 行と 4 行に分けるのは不自然だと思いますが? → この先行詞は Colinas ... roquedas の 3 つの句を先行詞とします。確かに、正確には「ソリアを囲む弓形の流れをもつドゥエロ川が銀色の丘, 灰色の小山, 紫の岩を通して流れる」となります。

* L9 por vosotros の por は? → 「理由」を示します。

* L9 vosotros は具体的には? → L1 から L8 までに挙げられた名詞句(ソリアの景色を構成するもの)を指します。

* L11. 訳例の「愛とも言える悲しみ」は意識ですか? → そのまま訳せば「愛である

悲しみ」となります。詩人にとってソリアの風景は愛と悲しみという2つの感情の対象であったようです。

* L13 *conmigo vais* は「私とともに来い」は「私とともに行こう」では？→それでもよいと思います。「行こう」の方が正確です。

● EJERCICIO p.16

(1) 大きな翼のハゲワシが孤独に紺碧の天空を悠々と横切った。

(2) ついに待ちわびた夜が計り知れないほどの巨大なマントを被せて来た。

* (1) の *solitario* は形容詞なのに、副詞的に訳すのは？→主語の性数に合わせた形容詞ですが、*cruzaba* という動詞が示す動作を副詞的に修飾しています。

* p. 16 (2) *incomensurable* ? → *inconmensurable* の間違いです。訂正します。*commensurar* 「(同じ単位で)計る」に否定の接頭辞(*in*)と「可能」の接尾辞(*ble*)がついた形です。

* *ansiado* は？→*ansiar* の過去分詞で、ここでは形容詞的に使われています。

* 「巨大なマント」は比喩ですか？→比喩的表現です。